

■防災教育 708万円
 ■公共施設等総合管理計画策定費用 1749万円
 ■町道整備事業 3億8339万円

■城山宅地造成工事 2393万円

Q 森 治史議員

造成工事がこの金額で完成するの。また、完成後の広さと海拔の予定は。

A 森田 まちづくり課長

請負費は概算で、今後、詳

細設計等で増減もあり得る。広さは約6千㎡、入野小学校の校門付近の高さほどになる。

Q 明神 照男議員

計画の区画数は。

A 森田 まちづくり課長

区画は、約80坪で9区画を予定している。

■県の道路整備工事負担金 2630万円

■公共交通バス補助金 3746万円

■地域整備事業 3千万円
 ■地域維持活性化交付金 1100万円

■臨時福祉給付金事業 3359万円

■小中学児童医療費助成事業 1703万円

■国民健康保険事業への赤字補てん分の繰出金 6千万円

■北郷地域と佐賀北部地域での集落活動センターの運営経費 1608万円

■集落支援員報酬 401万円

■地域おこし協力隊 1418万円

■集会所施設整備工事 300万円

■集落活動センター整備工事 600万円

■同和対策施設使用料調整基金 427万円

■防災対策加速化基金 2億1768万円

A 武政 総務課長

集落支援員報酬は、集落活動センター北郷と佐賀北部の経営活動を支援する2名分。地域おこし協力隊は、現在の蛸瀬川流域の地域づくり協議会での1名雇用に加え、新規採用者2名の雇用を予定し、

集会所施設整備工事、集落活動センター整備工事、同和対策施設使用料調整基金、防災対策加速化基金の内訳は。

Q 宮地 葉子議員

集会所施設整備工事、集落活動センター整備工事、同和対策施設使用料調整基金、防災対策加速化基金の内訳は。

合計3名の費用。



佐賀北部集落活動センター(拳ノ川)

A 武政 総務課長

集会所の場所は不特定で、例年の実績による計上。集落活動センター整備工事は、佐賀北部の常設販売店舗を計画している。

A 松田 副町長

同和施設使用料の調整基金は、佐賀の共同作業所フアクトリーコスモ、大方のじいんず工房の使用料を後年の補修費等に積み立てているもの。防災対策加速化基金は、緊急防災減災事業債と起債を利用して避難タワーなどの事業を行っている。その起債部分



宅地造成予定の城山を国道側から望む(入野本村)



じいんず工房(下田の口)